

## 令和3年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目(保健体育) 教授 門多 嘉人

取組状況	
教育	<p>①短い期間であったが、昨年使用したコンテンツを利用しながら、学生たちが運動を実践することができた。</p> <p>②パス技術を向上させることですべての種目において、学生が積極的にゲームに参加することができるようになった。また、グループを作り授業準備を行うことによって、リーダーシップの育成や仲間と協力して取り組む能力を養うことができた。</p> <p>③できるだけ学生一人一人に声掛けを行った。技術のコツやルールを知りたいなど、個々の要求に合わせた指導を行うことができた。</p>
研究	<p>①国内において新型コロナウイルス感染症の影響で遠隔授業が多かったことによる、子ども基礎体力の低下が言われている。本校の学生においては、大きな影響が出ているところまでとはいかないが、体力の部分で変化が見られた。</p>
社会貢献	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの中学生を集めて講習会を実施することはできなかった。感染拡大が落ち着いている時期に、学校単位で合同練習などを実施することはできた。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年度も学校体育施設の開放事業開催することはできなかった。</p> <p>③東京オリンピックにおいて、バスケットボール競技(3×3)のボランティアとして大会運営に携わることができた。</p>